令和７年１月15日発行（３ヶ月毎　年４回発行）

かどがわ 議会だより

January 2025 1

No.181

・令和６年第４回定例会…… ３Ｐ
・一般質問 ８人が登壇 …… ５Ｐ
・議会活動報告 ……14Ｐ

輝くひと

令和6年 第4回定例会

一般会計補正予算（第９号）　全員賛成・可決

4億7,088万円を追加し、106億7,764万9千円

歳出の主なもの

ふるさと納税事業	1億3,215万2千円
財産管理事業（ふるさと納税寄付金を基金へ積立など）	1億6,084万8千円
児童措置事業、公立保育所事業など	6,049万6千円
公害対策事業	558万4千円
延岡市夜間急病センター運営負担金など一般管理事業	1,030万5千円
感染症予防事業など	651万7千円
しいたけ等特用林産物生産体制強化事業など	489万円
道路改良事業、交通安全施設事業など	1,730万円
旧庁舎屋外放送機器移設などの災害対策費など	696万3千円
学校等人材配置事業、小・中学校の修繕対応など	1,306万6千円
１０月２２日豪雨による河川災害復旧事業など	3,785万1千円

特別会計および水道会計補正予算　全員賛成・可決

国民健康保険事業	46万7千円を追加し	25億6,830万3千円
後期高齢者医療	52万5千円を追加し	5億9,035万5千円
介護保険事業	120万1千円を追加し	18億5,666万7千円
水道事業	1,065万7千円を増額し	3億2,237万4千円
簡易水道事業		
収益的収入の営業外収益及び収益的支出を50万円を増額し		1,833万円

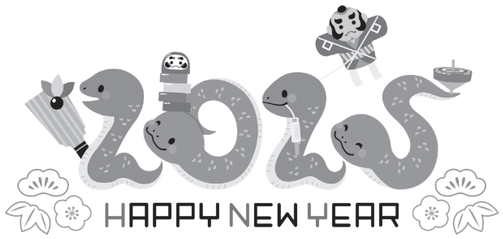
専決処分　全員賛成・承認

令和6年度門川町一般会計補正予算（第6号）
10月27日に執行された衆議院議員選挙の関連経費　1,327万6千円追加

令和6年度門川町一般会計補正予算（第7号）
災害復旧費など（10月22日に発生した豪雨による災害対応）　3,812万円追加

令和6年度門川町一般会計補正予算（第8号）
災害復旧費（10月22日に発生した豪雨による災害対応）　376万7千円追加

令和７年　新年のあいさつ



門川町議会議長
森　誠一

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から、議会に対しましてご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、昨年の状況を振り返りますと、門川町議会においては、まず、念願であった議会の動画をユーチューブにて放映を始めることができました。これにより、各ご家庭でも一般質問の状況を見られるようになりました。町民の皆さまへの周知が十分とは言えませんが、動画についてのご意見等をいただきながら、今後も町民の皆様のご期待に添えるような議会活動を誠心誠意努めたいと存じます。

本町議会の令和６年の活動としましては、今までの内容を一新した議会報告会（意見交換会）を町内の６団体とさせていただき、貴重な意見をお伺いしました。これらの意見は、慎重に精査して町執行に関わる意見については町と共有していきたいと存じます。

一昨年度から議会議員の本旨として「開かれた議会」、「町民の声を聴く議会」を実現するために特別委員会を設置しました。前述した議会報告会などを実施し、議会活動の多様な情報発信を進め、様々な課題に真摯に対応し、信頼される議会に取り組んでまいります。

結びに、本年が、皆さまにとりまして実り多き年になりますことをご祈念申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。

本年もよろしくお願いいたします
門川町議会

こんなことが決まりました

任命同意

教育委員会教育長の任命同意

教育長の金子文雄氏の任期が、令和7年1月3日をもって任期満了なることから、引き続き同氏を教育長として任命するため、議会の同意を求めるもの。

（全員賛成・可決）

条例の改正

道路占用料徴収条例の一部改正する条例

物価等の経済情勢の変化等を踏まえ、県では令和6年4月に道路占用料の額を改正していることから、門川町の道路占用料についても、県の区分に合わせて改正を行う。

（全員賛成・可決）

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

国家公務員に対する人事院勧告、及び宮崎県人事委員会勧告を受け、国と宮崎県は職員の給与を改定する。本町も国家公務員の取扱いに準じて、給与を改正するもの。

内容は、初任給を始め若年層に特に重点を置きつつ、おおむね30歳台後半までの職員にも重点を置き、全ての職員を対象に、月例給を2・76%引き上げる給料表の改正を行い、また、期末手当、勤勉手当の支給月数をそれぞれ0・05月分引き上げ、期末勤勉手当の支給額について、現行の年間4・50月を4・60月とするもの。

（全員賛成・可決）

町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

（全員賛成・可決）

教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正

（全員賛成・可決）

議会議員の議員報酬等に関する条例の一部改正

（全員賛成・可決）

3件の条例改正につきましては、特別職の国家公務員の期末手当の支給割合に準じて、期末手当の支給割合をそれぞれ0・05月分引き上げ、現行の年間3・40月を3・45月とするもの。

契約

財産の取得について（追認）①

平成27年度に小学校教師用教科書及び指導書、準拠教材を購入した契約。

購入部数　1412冊
取得契約価格　1275万9581円
契約の相手方　有限会社門川書店
（全員賛成・可決）

財産の取得について（追認）②

令和2年度に小学校教師用教科書及び指導書を購入した契約。

購入部数　1346冊
取得契約価格　1197万808円
契約の相手方　有限会社門川書店
（全員賛成・可決）

財産の取得について（追認）③

令和6年度に小学校教師用教科書及び指導書を購入した契約。

購入部数　1547冊
取得契約価格　1956万3193円
契約の相手方　有限会社門川書店
（全員賛成・可決）

陳情

陳情第1号今後の災害対策及び福祉対策の国・県に関する陳情書

本陳情は、令和6年第3回定例会において総務財政厚生常任委員会に付託となっていたが、陳情者より十月一日付けで取り下げ願いが提出され、許可された。

（全員賛成・取り下げ許可）

陳情書第2号今後の災害における福祉対策に関する陳情書

提出者　社会福祉法人
門川町社会福祉協議会
会長　中城廣美
（総務財政厚生常任委員会付託）

陳情第3号門川町議会議員定数削減に関する要望書

提出者　門川町地区会長・
自治公民館長連合会
会長　長友恵一郎
（「門川町議会議員定数削減に関する調査特別委員会」を設置し、付託）

一般質問を動画で見よう

まつもと　りょういち
松本　良一　議員

問　移住・定住促進対策について、固定資産税減額は

答　町独自の減額制度の実施は難しい

問

「街の住みここち&住みたい街ランキング2024」で県内26市町村の中で、三股町について第2位に門川町がランクインされた。門川町の魅力・良さを積極的に情報発信を行い、他市町村からの移住・定住促進の施策を図る。その1つの方法として、土地を購入し家屋を新築した場合に、町独自の固定資産税を3年間減額期間を延長する事は考えられないか。

答

県内で市町村独自の減額制度を設けている自治体はない。また町独自の減額制度を設けた場合に想定される減収が相当額見込まれることから、実施は難しい。

乙島体験学習について

問

町内の小学校4年生を対象とした乙島体験学習に係る「乙島への渡船料」や「バス代」等の予算を町で負担できないか。

答

本事業は、すべての児童が取り組む総合的な学習の時間において、ふるさとの良さに気づき、郷土愛を育んでいく事業であり、それに係る「乙島までの渡船料」などの必要経費については、町の予算で対応することになっている。

算数科授業支援員制度について

問

本年度からモデルケースとして、門川小学校で算数科授業支援員という取り組みを実施しているが、来年度以降、町内小学校へ拡大する考えはないか。

答

事業効果について検証し、残る2つの小学校の導入に対する意向確認を行ない、更なる事業拡大につながっていくことを期待している。

高齢者（認知症）対策について

問

国は、認知症施策推進大綱を制定し、2025年までに全市町村で、本人・家族のニーズと認知症サポーターを中心とした支援を繋ぐ仕組み（チームオレンジ）の整備を指導している。本町の設置の状況、今後の取り組みは。

答

今年6月に、「チームオレンジかどがわ」を設置した。地域のニーズに沿ったオレンジカフェの開設が、各地域へ広がるよう支援していく。

一般質問を動画で見よう

魚永（うおなが） 崇貢（たかつぐ） 議員

問 認知症に寄り添った地域社会の構築について

答 認知症施策に取り組む

問 地方公共団体は、認知症やその家族等にとって身近な行政機関であるとともに、認知症施策を具体的に実施するという重要な役割を担っている。認知症の人も家族も安全に安心して暮らせる地域への取り組みは。

答 認知症の方の状態に応じたサービス提供の流れをまとめた「認知症ケアパス」を希望者へ配布しているが、認知症の症状や予防をわかりやすくまとめており、認知症の方やその家族が、住み慣れた地域でより安心して生活できるための一助となるものと考えている。

「ユマニチュード」「バリデーション」「パーソンセンタードケア」のどの手法を用いるかは、現場の判断によるところではあるが、人間の尊厳を尊重するという事は、認知症ケアに限ったことではなく、介護ケア全般の基本となる部分であり、相手を思いやり、親身になって介護することにつながる。

オレンジカフェは、現在、町内3か所で開催されている。認知症の方やその家族、また地域の方が参加しており、様々な情報交換や交流の場となっている。オレンジカフェが各地域に広がるよう、令和6年3月に「門川町認知症カフェモデル事業補助金交付要綱」を改訂し、オレンジカフェの新規開設への支援強化を図っている。

高齢者の方の見守り事業として、「高齢者見守りSOSネットワーク」を実施している。これは、事前に登録のあった高齢者が行方不明になった場合、早期発見につなげるシステムである。また、見守りシール配布事業も行っている。この見守りシールは、スマートフォン等で読み取ることができるQRコードが印字されたシールである。このシールを高齢者の衣類や杖などに貼っていただき、その方が行方不明になった場合に発見者がQRコードを読み取ることで、ご家族や町とインターネット上の伝言板を通じてやり取りできるものである。

一般質問を動画で見よう

米良（めら） 格（いたる） 議員

問 学校教育・社会教育について

答 学力向上は本町の最重要課題である

問 本町の学力向上、現状と課題は。

答 直近の小学6年、中学3年生対象の全国学力・学習状況調査において、本町小学校は『言語に関する知識・技能』に課題が見られたものの、平均正答率は国語・算数とも全国平均を上回る結果であった。

中学校では、昨年より全国平均との差は縮まり、『話合い活動を通じての考えを深めること』に課題が見られた一方、『データ活用を図る問題』では正答率が高くなっている。

問 本町の語学教育、特に英語教育は。

答 グローバル化への対応や外国語によるコミュニケーション能力のため、特に力を入れていく教育であると考え、『中学生英語研修派遣事業』を8月に青島青少年自然の家で実施、英語講師等との2泊3日の交流、異文化理解の研修を実施した。

今後も未来を拓き、世界に羽ばたく児童生徒を育むため、時代が求める英語教育の充実に努めていく。

問 第3次門川町教育振興基本計画は。

答 「『町民一人ひとりが主役の町づくり』を推進する教育の充実」を目指しております。3つの重点施策、「地域と学校の連携・協働の推進」「確かな学力を育む教育の推進」「安全・安心な学校づくりの推進」を中心に毎年評価・活動に努めており、令和7年度が最終年度となるため、現在見直しを行っている。

問 本町内の小・中学校のいじめの現状は。

答 前年度と比べ39件減少しており、大多数が「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」など。ほぼ解決済み。

今後も子供の立場に立ち、いじめの早期発見・早期対応に努めていく。

町史編纂について

問 町制90周年を迎えるが町史編纂の考えは。

答 町制施行100周年に向け取り組んでいく。

一般質問を動画で見よう

田中（たなか） 豊和（とよかず） 議員

問 道路施設の盗難被害状況は

答 盗難被害は過去にガードパイプ1カ所など

問 破損や盗難被害の状況は。

答 今年度に関しては、町道の施設の破損はない。8月の台風10号によるグレーチング流出1ヵ所のほか、老朽化などで破損したグレーチングが4ヵ所あるが、盗難被害は、確認していない。

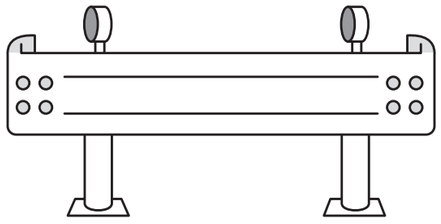
問 過去の盗難被害とその対応、被害防止対策は。

答 過去には、グレーチング蓋が5～6枚、ガードパイプが1ヵ所なくなっていたことを把握している。また、被害防止対策としては、注意喚起の張り紙を行ったり、定期的に職員による巡回を行うなど、被害防止に努めている。グレーチング蓋をボルト等で連結し簡単に取り外しできないような対策を行っている。

問 通学路においてのガードレール、ガードパイプ等の整備状況と今後の予定は。

答 平成28年度より「門川町通学路交通安全プログラム」を策定し、小学校と警察署、道路管理者、教育委員会の立会いの下、通学路の危険個所などを調査する通学路交通安全点検を実施している。

点検結果に伴い、事故等のリスクのある箇所については、歩道の狭小部の改良工事やガードパイプなどの防護柵設置、安全ポール設置やカラー舗装などの対策を実施している。



▲ ガードパイプ 設置 (五十鈴小学校通学路)

▲ カラー舗装 実施 (草川小学校通学路)

一般質問を動画で見よう

神﨑（かんざき） 千香子（ちかこ） 議員

問 アピアランスケアの支援を

答 早期導入していく

問 アピアランスケアとは、がんやがん治療に伴う外見の変化による気持ちのつらさを和らげるケアで、例えば抗がん剤の治療の副作用で、髪が抜けること等に対して、精神面からのサポートをすることである。

このアピアランスケアに対して、医療用ウイッグや補正具の購入費の助成が必要ではないか。

答 アピアランスケアは、近年の医療技術の進展により、がん治療を継続しながら社会生活を送ることが可能となってきたことから、重要度が高まってきたと認識している。町としても、アピアランスケアに係る補正具購入助成制度の早期導入に向けて取り組んでいく。

地区での意見交換会の実施について

問 町民との意見交換を、これまでに15回開催し、22組が参加しているが、この意見交換の内容及び意見交換により町政に反映した意見は。

又この内容などを町広報・ホームページなどで、公開する必要があるのではないか。

答 内容としては、農林水産業の振興や各地区の運営、防災、各種団体に関する内容など様々である。意見の反映としては、例えば、地区で防災意識を高めたいとの事だったので、自主防災組織の活動費の補助金の上限額を5万円から10万円に増額した。

また西門川地区では、旧西門川小学校にて「おかえりな祭」、西門川活性化センターにて「西門川桜縁日さくら祭」を開催している。先日は、町の自然の魅力を感じることができる複合型ミニ展示会「にしかどの庵」を宮崎大学との連携事業として、旧西門川小中学校にて開催した。

これまでの意見交換については、町長の最近の活動としてホームページにてお知らせしている。

問 幅広く多くの町民の声を町政に反映させるために、地区ごとに町民と町長の懇談会を開催していく必要があるのではないか。

答 各地区の活性化につながる事などのテーマを設けた上で、意見交換会の開催を考えている。

一般質問を動画で見よう

岩切（いわきり） 義樹（よしき） 議員

問 庵川東地区ハウス団地付近における冠水被害への対応について

答 災害復旧については全力で取り組む

問 産廃費用および作業負担の軽減について。

答 今回の豪雨で発生した災害ゴミには、農業用ビニールシート、ミニトマト等の苗や果実などが含まれる。本来は、農業経営に伴うゴミなので、産業廃棄物扱いとなり、個人で処分すべきだが、今回は災害廃棄物として指定した。当初、庵川東公民館横の広場を一次仮置き場とし、その後清掃工場敷地の二次仮置き場へ移動した。一次仮置き場設置期間中に搬入できなかった災害ゴミについては、「特別ごみ搬入許可書」を被災された農家へ発行し、二次仮置き場に搬入していただいている。

問 流出した重油費用等の補助について。

答 重油流出の施設は2か所あり、重油を河川に流出させないこと、農業・漁業資源への汚染を防ぎ、環境への負荷を最小限に抑え、地域経済に損失を与えないことを目的とし、対策を関係機関と連携して最優先に取り組んだ。10月23日から被災農家と農協職員と共に初期対応にあたり、流出防止作業に必要なオイル吸着マットを購入し、重油の吸着作業を行った。その後、汚泥を回収し、産業廃棄物処理業者に依頼。費用は災害復旧事業の補助率3分の2を活用し、補正予算を10月25日に専決し対応した。

問 冠水被害を再発させないための河川整備と強制排出ポンプの設置について。

答 新川は、延長約1キロメートルの普通河川で、農業用の樋門や井堰など、これまで農業者により管理されてきた河川。対策については、河川の断面を大きくする河道掘削や堤防のかさ上げなどの整備、浸水被害を軽減する強制排水ポンプの設置などが考えられ、県などと協議しているが、事業実施のハードルは高い。いずれの事業も、多くの費用が必要となり、河川整備だけではなく、周辺の農地や用排水路も併せた面的な改修整備が重要である。今後、関係機関とも協議を行っていく。

▲ 冠水したハウス内部

▲ 氾濫した新川

一般質問を動画で見よう

中城（なかじょう） 資力（よしかつ） 議員

問 「どぶろく作り」の現状と今後の展望は

答 新たな地域ブランドとして期待される

問 「どぶろく特区」の現状と今後の展望は。

答 門川町産の米を使用した「どぶろく」には、新たな地域ブランドとして地域活性化等に資することが期待される。

「災害発生時の対応について」

問 災害ボランティアの受け入れについて、現状では対応が難しい。門川高校と連携して、災害ボランティアセンターを同校内に設置し、ボランティア用の防災倉庫を設置するなど、活動の拠点にできないか。

答 現在、門川高校は避難者受け入れのための備えを充実させている。大規模災害後の学校再開の時期や避難者とボランティアの動線の隔離等課題が多い。

問 災害時の情報収集の方法及び周知の方法、国の新総合防災システムとの連携は。

答 本町は「宮崎県防災情報システム」を導入している。国の新総合防災システムとの連携は、来年度行う予定。

問 門川町における大規模災害時の緊急輸送ルートや、燃料供給のための中核SS、またはガス供給のための中核施設の設定は。

答 大規模災害時には県と連携し、直ちに道路の点検を開始し、緊急輸送ルート等の道路啓開をする「九州東進作戦」が実施されることになっている。優先給油等を行う中核SSは国が指定しており詳細は非公表となっている。

問 県北地域DMATとの連携やドクターヘリ・ドクターカーなどの発着場所、医療広域連携の手段は。

答 日向保健所内に「保健医療福祉調整本部」が設置されることになっており、DMATをはじめとする、各種災害派遣チームと連携を図ることになっている。ドクターカーやドクターヘリの発着場所は県が調整することになっている。

一般質問を動画で見よう

黒田（くろだ）　耕右（こうすけ）　議員

問　町指定避難所における停電対策は

答　非常用電源を配備し、電源の確保に努めている

問　台風10号の影響で門川町の避難所が停電し、西門川総合活性化センターでは復旧が遅れた。避難所では冷房や照明が重要であり、停電対策として太陽光発電やポータブル発電機などの予備電源の準備が必要。全避難所での予備電源準備は可能か。

答　門川町では、非常用自家発電設備のある中央公民館を除く各指定避難所の防災備蓄倉庫に、発電機15台を備え、昨年度からはポータブル蓄電池も7台保有している。停電時にはこれらの非常用電源を活用し、避難者の快適性を確保するよう努めているが、電力容量には限りがあり、冷暖房の使用は難しい状況。

　送風機の使用や携帯電話の充電用モバイルバッテリーの携帯も推奨しているが、九州電力送配電株式会社との協定により、早期復旧を目指している。

▲ 町保有のポータブル蓄電池

《 議会だよりの一般質問の掲載記事について 》

一般質問の掲載記事は、通告書の質問とそれに対する最初の町長等の答弁のみを記載しております。
再質問の内容は、YouTube でご確認ください。

秋の叙勲【旭日双光章】を受章

元町議会議員　安田　茂明　様（小園地区）

写真中央が安田茂明氏

　元町議会議員の安田茂明様が、令和６年11月３日付け旭日双光章を受章されました。

　安田様は平成６年５月に門川町議会議員に当選され、以来令和４年２月までの８期27年7か月にわたり在職されました。

　在職中は、議会議長・副議長、常任委員長、特別委員会委員長等を歴任し、青少年や高齢者の意見を汲み取りながら地域社会の発展に貢献されました。

　秋の叙勲受章、おめでとうございます。

YouTubeによる議会放映

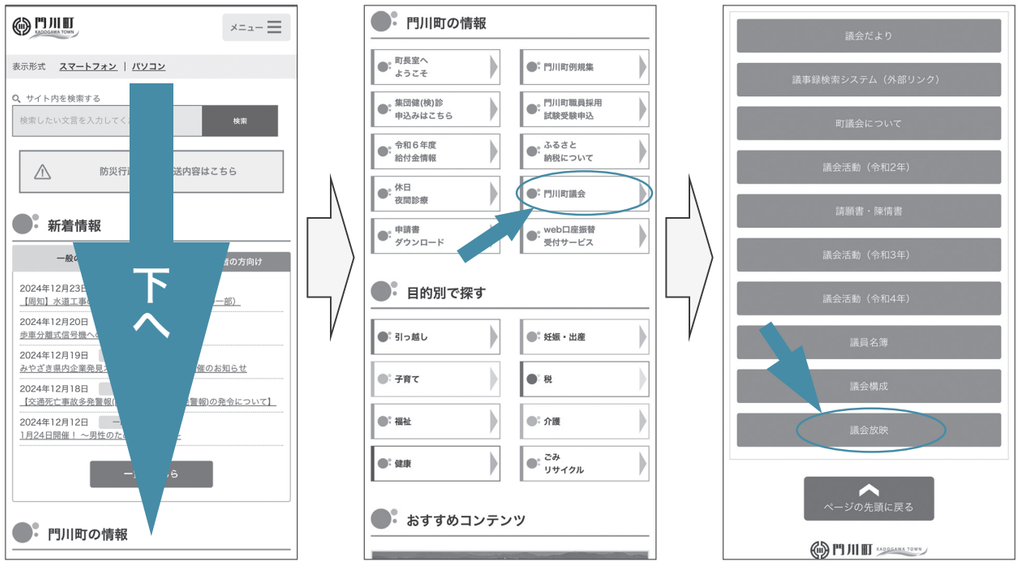
門川町議会一般質問の You Tube 配信中 !!

令和６年12月４日、５日
一般質問　８名の議員が質問しました。

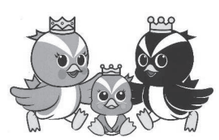
こちらの QR コードから
YouTube へ移行します☞

（QRコードは㈱デンソーウェーブの登録商標です）

★ホームページからご利用の場合は以下の手順でご覧いただけます。



ぜひ、ご覧ください!!

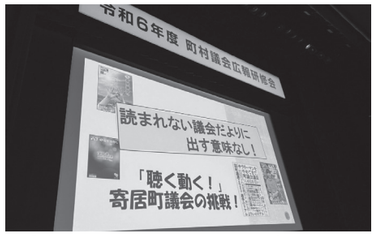


お問い合わせ 議会事務局 TEL 63-1140

議会活動報告

町村議会広報研修会（全国会主催）

令和６年９月25日(水)13：00～
場所：東京都港区虎ノ門　ニッショーホール
議員３名　事務局１名
日本全国から議会広報に携わる人たちが集まり、３名の講師から読まれる議会広報紙の作り方について講義をしていただきました。今後の議会広報紙の作成に活かしてまいります。



「読まれない議会だよりに出す意味なし」

東臼杵郡町村議会議員研修会

令和６年９月26日(木)14：45～
場所：ベルフォート日向
議員　９名　事務局　２名
２名の講師にバイオマスについて講義していただきました。バイオマスの現状とこれからの課題や事業に向けた取り組みについて理解を深めることができました。

研修会場

小林市役所議会事務局視察

令和６年10月９日(水) 10：30～
場所：小林市役所
議員２名　事務局１名
議会活動や議員活動、または会議や研修におけるタブレット端末使用の有用性や課題について初めて調査・研究を行いました。

小林市役所にて

第 64 回　宮崎県町村議会議員大会

令和6年10月10日(木)13：30～
場所：国富町農村環境改善センター
議員 12 名　事務局３名
県知事や県議会議長も参加され、清新で活発な議会活動に努め、行政改革を加速し、住民の負託に応えること等について宣言しました。また、議会のあるべき姿や議会改革の動向について講義していただき、多様性が進む中、議員のなり手不足や議員報酬の問題について、住民自治、民主主義の問題として考えさせられました。

国富町にて

日向市役所議会事務局・延岡市役所議会事務局視察

令和６年11月12日(火)10：00～ 日向市役所
13：30～ 延岡市役所
議員３名　事務局１名
タブレット端末の活用について日向市と延岡市へ視察に行きました。導入機種やアプリケーションの内容、費用についての説明、使用により期待できる効果及びメリット・デメリット、今後の課題と端末の運用基準について等、大変参考になりました。今後もタブレット導入に向けた話し合いを進めていきたいと思います。

延岡市議会事務局からの説明

門川町次期衛生センター（仮称）建設工事の安全祈願祭

令和６年11月14日(木)10：00～
場所：門川町衛生センター
議員 11 名
水 ing エンジニアリング株式会社や一般社団法人日本環境衛生センター西日本支局、門川町の関係者等およそ 40 人程が集まり安全を祈願しました。

安全祈願祭の様子

宮崎県町村議会議員幹部議員研修会

令和６年11月21日(木)13：30～
場所：宮崎市　自治会館
議員４名　事務局１名
基本的な議会のしくみと国や社会、町民、行政との関わり、議員の成り手不足、議員報酬の実態など現状と今後目指す方向など、貴重なお話を頂き、大きな刺激となりました。

幹部議員研修の様子

町村議会広報研修会（宮崎県町村議会議長会）

令和６年11月26日(火)13：30～
場所：宮崎市　自治会館
議員４名　事務局２名
広報紙についての講義や各町村の議会だよりを見ながら、良い点や改善点の意見を参加した議員全員で出し合う形式の研修は大変良い刺激となりました。

広報研修会(グループ討議の様子)

輝くひと の紹介

今回ご紹介させていただく「輝くひと」は、結成して約 40 年の卓球クラブ「門川サルビア」で活動している梅ノ木在住の細山田 小枝（ほそやまだ さえ）さんです。 60 歳から卓球を始め、90 歳になった今でも楽しく卓球を続けているそうです。なんと、12 年前の県大会にて優勝するなど、とても素晴らしい成績を残されています。とても 90 歳とは思えないパワフルな方で、元気の秘訣は「クヨクヨしない事」「人と関わっていく事」と語ってくれました。これからのご活躍に期待しております。

次回3月議会の予定

3／4(火) 〜 3／21(金)	4日	(開会)議案の上程
	5･6日	一般質問
	21日	議案の採決(閉会)

上記の日程は変更になる場合がありますので、町のホームページ等でご確認ください。
どなたでも傍聴できますので是非お越しください！

編集後記

新春を無事に迎える事ができました。今年も門川町議会一同、町民の皆様に寄り添える議会活動を目指して、頑張ってまいります。
今年も宜しくお願い申し上げます。

■発行者／門川町議会議長　森　誠一
■編集／議会広報編集特別委員会
〒889-0696　宮崎県東臼杵郡門川町平城東1番1号　TEL(0982)63－1140
■議会広報編集特別委員会／委員長　出口　希俊　　副委員長　岩切　義樹
委　員　黒田　耕右　　魚永　崇貢　　田中　豊和　　寺田　泰隆
■印刷／株式会社 ながと